

最優秀賞

たった一瞬の不注意で

大刀洗町立大刀洗中学校 2年 河村 花菜子

交通事故、それは健康で病気をしていない中学生の私達にとって一番「死」に近づく出来事だと思います。なぜなら私は毎日中学校まで自転車で通学しているし、よく車にも乗るので一番身近にある危険だと思うからです。

私は、自転車に乗っていて事故を起こしそうになったことがあります。通学中、私はいつものように自転車をこいでいました。交差点でいつもは一旦停止して、車が来ていないかを確認して通るのですが、その日は急いでいたし、車の音もしなかったので、停まらずに進もうとしました。すると横から車が走ってきて、ぶつかりそうになりました。急ブレーキをかけて、ぶつからなかったけど、もしブレーキをかけずにそのまま行っていたらと思うととてもぞっとします。

また、これはつい最近、通学中に友達と並列をしてそれが先生に見つかって注意されたことがありました。いつもはちゃんと真っすぐ縦一列に並んで行っているけれど、その日は友達と話すことを優先してしまいました。私は「なんでほんの少し並列しただけなのに、こんなにも注意されないといけないのだろう」と心の中で、少し思っていました。けれど先生が友達に言った言葉ではとりました。

「もし、並列していて、車側の人が車とぶつかって死んでしまったら責任とれる？」
ほんのちょっとした不注意で、大切な友達を失ってしまうかもしれない、もし一緒に並列をしていて片方だけが亡くなってしまったりしたら私は一生後悔をしていくことになる、そんなのはいやだと思いました。だから私は一つ目と二つ目の出来事を通して、自分では小さなことだと思っていたことが実は大きな事故を引き起こすタネになることを知ったので、それからは、飛び出しや並列はしていません。

交通事故というのは、どちらかの不注意などが原因で起こって、何の罪のない人の命を奪って、その人のこれからの未来までも失ってゆく、恐ろしいものです。しかし、交通事故は、一人一人の事故を起こさないようにしようという行動や注意する気持ちがあれば、未然に防ぐことができるものです。だからわたしはこれから、交通ルールを守って自転車に乗ったり、歩いたりして、危険なことをしていたり、交通ルールを守っていなかったりする人を見つけたら、注意できるようになりたいです。

これから交通事故で命を落とす人がいなくなればいいと思います。